

## バイオプラスチック研究会 事業報告

藪谷祐希\*，森澤 諭\*，西川 孝\*，苔庵泰志\*

Annual Report of Meeting for the Study on Bioplastic

Yuki YABUYA, Satoshi MORISAWA, Takashi NISHIKAWA and Yasushi KOKEAN

### 1. はじめに

三重県では、県内企業、大学等の高等教育機関、行政機関、支援機関等と連携・協働し、県内企業の新たな挑戦を支援するために、平成 29 年度に「みえ産学官技術連携研究会」を発足させた。本連携研究会は、技術分野横断的な研究会活動を主体として、多様な機関が有機的に連携し、企業の課題解決や産学官の戦略的な取り組みを通じ、地域イノベーションの創出を目指すものである。

連携研究会は、地域資源、基盤技術、成長分野及び広域連携の 4 つの分野研究会で構成されており、さらに研究会の下には特定課題検討会を設置している。

当検討会は、成長分野研究会のもとで生分解性プラスチックやバイオマス素材等を活用したプラスチック複合材料の成形技術や有効利用技術、それらの評価等に関する技術について、情報発信と、関連する企業課題の抽出及び解決の支援に取り組んでいる。

### 2. 研究会の開催

今年度実施した研究会を図 1、概要を表 1 に示す。

### 3. 事業の実施結果

本研究会では包装資材関連や食品製造関連の製品用途に使用されるプラスチックの成形加工技術、バイオマス素材の利用技術等について研究会を

実施した。意見交換、個別相談、試作を行うことで、各企業の課題やニーズを知ることができた。また、参加企業と共に、射出成形機や押出成形機を用いた試作成形を実施し、個別課題の解決支援を行った。

### 4. 今後の取り組み

本研究会を通して、生分解性プラスチックやバイオマス素材等を活用したプラスチック複合材料に関する成形加工技術やリサイクル利用技術について、研究会参加企業と意見交換、個別支援を行った。次年度以降も最新の技術動向や企業ニーズを把握することにより、県内企業との共同研究などの企業支援に努める。



図 1 第 7 回バイオプラスチック研究会の様子

\* ものづくり研究課

表1 令和6年度に開催したバイオプラスチック研究会

検討会	開催日	場所	内容	参加者数
第1回バイオプラスチック研究会	令和6年 4月4日	参加企業 (個別開催)	「生分解性プラスチックの海水中での分解性評価」について意見交換	4名
第2回バイオプラスチック研究会	令和6年 4月12日	参加企業 (個別開催)	「紙粉末を有効活用したプラスチック複合材料の物性」について意見交換、個別支援	1名
第3回バイオプラスチック研究会	令和6年 4月19日	参加企業 (個別開催)	「牡蠣殻を有効活用したプラスチック複合材料の成形」について意見交換、個別支援	2名
第4回バイオプラスチック研究会	令和6年 5月28日	参加企業 (個別開催)	「藻類を有効活用したバイオプラスチックの開発」について意見交換、個別支援	5名
第5回バイオプラスチック研究会	令和6年 6月6日	参加企業 (個別開催)	「でんぶんを活用したプラスチック複合材料の製品開発」について意見交換、個別支援	1名
第6回バイオプラスチック研究会	令和6年 6月25日	参加企業 (個別開催)	「植物由来材料を使用した環境配慮製品の開発」について意見交換、個別支援	2名
第7回バイオプラスチック研究会	令和6年 11月20日	工業研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「日本バイオプラスチック協会の活動—バイオプラスチックの概要と応用分野など— 日本バイオプラスチック協会 事務局長 山田 秀夫氏</li> <li>・講演「プラスチック容器メーカーによるバイオマス製品とアップサイクルの取り組み」 株式会社 コバヤシ 新規開発事業部 バイオマス課 日向寺 崇如 氏</li> <li>・工業研究所の取り組み紹介、見学会</li> </ul>	42名